

《 検査手順書 》

検査手順書の評価指標

評価項目：1. 目的・臨床的意義：検査手順を担保するための目的が記載されている

2. 検査手順：検査実施するうえでの詳細な手順が記載されている

3. 精度管理・技師間差確認：検査精度を担保するための方法や評価方法について
記載されている

4. 生物学的基準範囲または臨床判断値（緊急異常値の報告方法等含む）：検査に必要な
基準範囲や臨床的判断値が記載されている

評価基準：A 評価：評価項目が， 4 項目全て記載されている

B 評価：評価項目が， 2～3 項目記載されている

C 評価：評価項目が， 1 項目（検査手順）のみ記載されている

※ 評価項目 1～4：施設内で運用している文書を PDF 化して提出

◆ 評価サンプル

1. 目的・臨床的意義：検査手順を担保するための目的が記載されている

モダリティとしての特徴，検査目的，検査対象部位や疾患名など

1. 検査の目的

頸部超音波検査は、甲状腺、副甲状腺、唾液腺、頸部リンパ節を主な対象臓器とする。

検査目的は、スクリーニング、病変の有無、質的診断、広がり診断、術後経過観察、症状の原因検索

資料より一部抜粋

2. 検査手順：検査実施するうえでの詳細な手順が記載されている

走査手順、観察内容、観察部位、条件など

2) 走査方法

① 体表領域

- イ) 乳腺、甲状腺、その他体表領域を基本とする。
体表領域の部位ごとに適した走査手技を行う。

3) 走査手技

① 乳房

イ) 検査体位

原則、上半身脱衣、仰臥位で検査を行う。乳房が外側に下垂する場合には、観察乳房側に肩枕を入れるか、上肢を挙上させて、乳房が胸郭に均等に広がるように調整する。
腋窩を観察する際には、原則、上肢を挙上させて観察する。これらの体位をとれない場合

資料より一部抜粋

3. 精度管理・技師間差確認：検査精度を担保するための方法や評価方法について記載されている

精度管理の手順や実施方法と技師間差確認方法の記載

11.精度管理手順

1) 外部精度管理

- (1) 日本臨床衛生検査技師会日臨技臨床検査精度管理調査（年1回）
- (2) 日本超音波検査学会画像コントロールサーベイ（年1回）

2) 内部精度管理

- (1) 要員間差確認・技能（年1回以上）

技術管理主体は、検査担当要員の検査作業手順を評価し、「XXXXXXXXXX」
「XXXXXXXXXX」に記録する。

- (2) 要員間差確認・目合わせ

超音波カンファレンス・勉強会にて医師や技師が提示する症例や画像の検討や実技を実施し、目合わせを行う。

資料より一部抜粋

4. 生物学的基準範囲または臨床判断値（緊急異常値の報告方法等含む）：検査に必要な基準範囲や

臨床的判断値が記載されている

報告書などに使用している基準値の記載

4) 生物学的基準範囲又は臨床判断値

(1) 異常を認めない場合

① 乳房

- イ) 腫瘤を認めない
- ロ) 非腫瘤性病変を認めない
- ハ) 所属リンパ節腫脹を認めない

② 甲状腺・副甲状腺・頸部リンパ節・唾液腺

イ) 甲状腺

- ・ 腫瘤を認めない
- ・ 腫大を認めない

資料より一部抜粋